



富士見市議会だより

若手経営者の皆さんに 議会がインタビュー

取材：令和5年12月



副議長 深瀬 優子



議長 田中 栄志

ごあいさつ

市民の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より、富士見市議会に深いご理解と温かいご支援を賜りまして、心より感謝申し上げます。

市議会では令和5年4月より、広報広聴委員会が発足し、議会広報のさらなる充実を図っています。また委員会活動や市民の皆様との意見交換会などを通して、今後も議会活動をより拡充させることに努めてまいります。

未来に向けてワンチーム富士見市議会として、より良い富士見市となるよう、皆様の期待に添えてまいりますので、引き続きのご理解とご協力をお願いいたします。

未来ある若手経営者の皆さんにインタビュー

本年初の市議会だより特集記事では、市内の若手経営者の皆さんにインタビューし、抱負や思いを記事にしました。

今回取材に応じていただいたのは、写真右から斉藤優也さん(新朝日モーター株式会社 自動車販売整備)、斉藤雅之さん(有限会社斉藤商店 米穀・燃料・宅配水販売)、柳田雄さん(柳田商店 プロパンガス販売)、水村敏之さん(株式会社リスター 屋根、外壁、雨樋工事)、平岡一夫さん(学校法人多摩川学園 認定こども園こすす幼稚園)です。

今の仕事をするようになった契機は

○大学卒業後、いずれ家業を継承するという考えを持ちつつ、問屋に勤めました。その後、家の仕事を継ぐことになりました。

○大学卒業後、すぐに代々続いている家業を継ぎました。



○卒業後に他の会社働いた後、家の仕事を継ぐことになりました。○学校卒業後、建築関係の仕事に就き技術を身につけ、一緒に仕事をしている人からの信頼を得られようになっってきたから個人事業主として働くようになりました。その後、株式会社として起業しました。

○結婚がきっかけです。義父に声をかけてもらったことで、それまでとはまったく違う業種からの転職でした。

仕事をしていた、良かったことは

○好きなものづくりの仕事が続いている中で、お客様に喜んでもらえることがうれしいです。

○地元で生かされている感覚があり、地域の人の付き合いや地元に着用して仕事ができることに良さを感じます。

○子どもが好きだったこともあり、毎日子どもたちが遊んでいる姿を見られるだけで楽しいです。

○家業を継いだことで様々な団体からの誘いがあり、知り合いも増えました。仕事の中でも活かされています。

○自分のやった仕事はすぐに形となることは魅力だと思っています。

仕事で大変なことは

○ライフランを担っている中で、お客様が困っている時はそれが夜中であっても対応しなくてはならないことです。また、長期の休みを取ることも難しいです。

○取引先の倒産で影響を受けたこともあり、資金的な面も含めたリスクへの備えも求められています。

○仕入先や品質の確保について、これまで以上に努力や工夫が必要になってきています。

○急速に技術が進化している中で日々の勉強は欠かせず、設備投資も必要となっています。

○様々な人と接する中で、いかに相手を理解することができるかが求められています。

今後の展望は

○価格競争に勝ち抜くためにも、自分の腕に付加価値を付け、

適正価格以上のものをいただけるようにしたいです。

○親が築いてきたベースを引き継ぎ、課題に取り組みながら、さらに伸ばしていきたいと思っています。

○難しいのは少子化だと思っていますが、待機児童が減るのは保護者にとっても子どもにとってもいいことなので、しっかりと取り組んでいきたいです。

○例えば電話の声でどのお客様かすぐ分かるなど、大手にはない対応ができるようにしています。そして、電話がつながることの安心感をお客様に提供しています。この積み重ねが10年、20年先につながると考えています。

【取材を終えて】

若手経営者の皆さんとお会いして、変化する厳しい社会環境においても工夫を重ね、課題に向き合い希望を失わずに努力されている姿に触れることができました。これからも皆さんの事業のご発展、ご活躍をお祈りいたします。



水村 敏之さん



トピックス

令和5年第2回(11月)臨時会が11月8日(水)に行われました。

今臨時会では、令和5年度富士見市一般会計補正予算を含む2件の議案が市長から提出され、審議の結果、それぞれ原案のとおり可決しました。

また、令和5年第4回(12月)定例会が11月28日(火)から12月20日(水)までの23日間にわたって行われました。

今定例会では、2件の令和5年度富士見市一般会計補正予算をはじめ、14件の議案が市長から提出され、審議の結果、全て原案のとおり可決しました。

市政一般質問

市民の皆さんの生活にかかわる諸問題
や富士見市の課題などについて市議会
議員が市に対して質問を行いました。



①子育て環境の充実について
Q 中学3年生・高校3年生の受験時に、インフルエンザの予防接種への助成を。
A 助成する考えはない。
Q 児童生徒への香害対策を。保健調査票を活用し、学校としてできることを考えていく。校長会や学校教育だより等を通じ教職員や保護者に

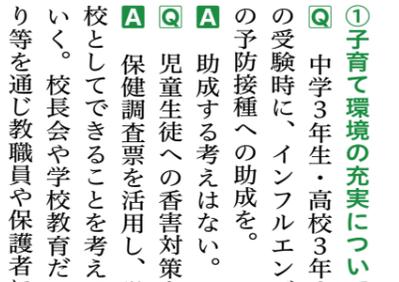


周知し、他者へ配慮ができる環境づくりにも努めていく。
Q 歩数に応じ学校に寄付できる事業で、健康循環社会を。
A 調査研究していく。
②安全安心について
Q 交通安全の促進としてハンドサイン運動の推進を。
A 県及び県警、関係団体と協力連携し取り組んでいく。
③市民要望について
Q 危険なブロック塀への対策として、撤去工事に係る費用に加え、再度ブロック塀を建てる費用の一部にも補助を。
A 考えはない。



①市内の移動手段について
Q 市内循環バスの運転手不足解消に向けた市の取組は。
A 今後、どのような取組が可能か研究していく。
Q ライドシェアの導入は。
A 現時点では導入できないが、国の動向を注視していく。
②安全な道路の通行について
Q 道路や河川の草刈りと道

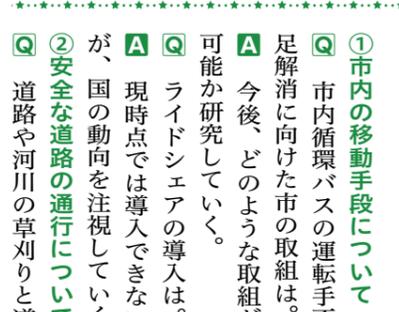
路工事について、事前に周知する考えは。
A 作業箇所における看板等による周知とともに、今後、ホームページによる周知方法を検討していく。
Q 道路通行の支障となる街路樹の根上がり対策は。
A 街路樹の根の一部を除去する修繕を実施している。順次対応し、適切に管理する。
③DXの推進について
Q 官民連携によるコンソーシアムでのDX推進の考えは。
A 効果的で効率が上がると判断すれば連携を検討する。



が、オンライン化できないか。
A 全庁的なオンライン化の議論の中で検討していく。
Q 北海道森町・八雲町等が全国の自治体に対し、学校給食用のホタテの無償提供を実施するが、本市での活用は。
A 森町にエントリーし、令和6年3月の提供を目指す。
②びん沼自然公園について
Q イベント時の駐車場満車を受けて、駐車場の確保についての考えは。
A 増設は考えていない。県が管理する河川敷の活用を指定管理者と検討していく。



①公共施設マネジメントについて
Q 公共施設個別施設計画第1期実行計画の進捗状況は。
A 施設の改修時期の分散化や長寿命化などにより、費用の分散化を目指している。
②富士見市のシテールスの取組について
Q シテールプロモーションの



これまでの取組の評価は。
A 市内外へのプロモーションにより、富士見市の認知度が向上するなど、概ね順調に進捗している。
③STEM教育について
Q 目標としている情報活用プログラミング、課題解決能力の教育課程への成果は。
A 主体的に取り組む姿は、社会を生き抜く上で必要な態度につながっていくと考える。
Q STEM教育を中学校まで拡大すべき。市の見解は。
A いずれは義務教育9年間の取組への拡大を研究する。

ロケットを着用している動物の死骸から、持ち主に連絡する考えはないか。
A 損傷が激しいものが多く、飼い主を特定することは困難な状況である。
③みずほ台コミュニティセンターについて
Q 現状の課題は。
A 調理室の新設に関する要望や施設内の洋式トイレを増やしてほしいとの声をいただいている。これらの課題に対して、今後計画予定の長寿命化改修工事において検討していきたいと考えている。



①学校給食について
Q 学校給食費の口座振替は、12の金融機関で可能だが、対象の機関を広げられないか。
A 収納代理金融機関のうち、手数料が1件100円の2行は見送った。ほかは1件10円で、公平性の観点から難しい。
Q 学校給食費の口座振替手続は、窓口に行く必要がある



に実施していく方針を進める。
②人事管理について
Q 職員体制を拡充していることは承知しているが、人事管理の視点からの事務事業の精査も必要ではないか。
A 業務の進め方等も整理をしながら考えていきたい。
③外部協定の締結について
Q 株式会社ロッテとの高齢者の健康づくりに関する協定締結により期待される効果は。
A 知見の活用や市単独では難しい調査・研究を進め、介護予防と健康づくりへの機運醸成等を強化していきたい。

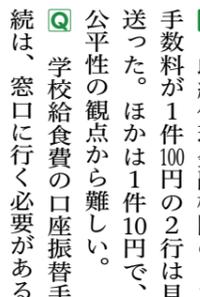


①感染症予防対策で安心な暮らしづくり
Q 公共施設内での換気対策は有効と考えるが「換気の悪い密閉空間」を改善するため、二酸化炭素濃度計を使用し、「見える化」を図っては。
A 導入自体もあるが、現時点で予定はない。エビデン

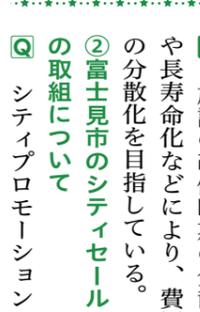


事には既に発注済み。年明けに着工し今年度中に完成予定。
Q 東武東上線の記念碑については対応を行うか。
A 来年度に記念碑の説明板等の整備を行う。
Q 権平川の工事の状況は。
A 約60m暗渠化しインターロッキングブロック舗装を進めている。令和6年1月中旬に完成し通行可能となる予定。
③スポーツ施設整備について
Q びん沼ミニ野球場の外野ラインの除草について。
A 他より短い10mmの刈高にする方法で実施した。

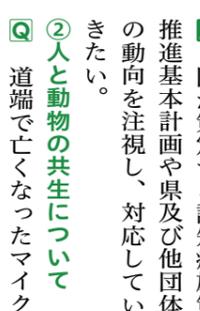
富士見市の市営住宅の戸数と今後の計画は。
A 40戸を令和11年まで借上げ契約している。財政状況等から延長は難しい。
Q 県内の同人口規模の自治体と比較して富士見市の40戸は圧倒的に少ないが見解は。
A 人口規模だけでは判断は難しい。
Q 自治体には、公営住宅法に基づき、公営住宅を整備する責務がある。市営住宅の継続と増やす政策への転換を。
A 市営住宅の必要性は理解している。



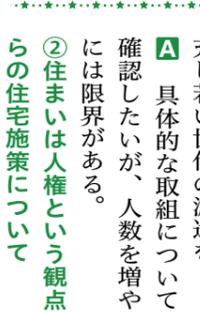
①西出張所の早期再開
Q 地方自治法では住民は行政サービス提供を平等に受ける権利があるとうたわれている。西出張所が閉鎖されて以降、多くの市民が不便な生活を強いられている実態は、サービス等を等しく受ける権利が侵害されている状況と言える。解決のためには鶴瀬駅周辺で



の代替施設設置しかない。
A 代替施設整備は検討していない。代替手段の充実に努めていく。
②市内循環バスの拡充
Q タクシーだけでは日常の交通手段とはなり得ない。早急に東上線西側地域での循環バス運行検討を開始すべき。
A 現状の維持継続を目指す。
③重度の障がい者のためのグループホーム開設
Q 重度の方が入所できるグループホーム開設を待ち望む市民がいる。市の認識は。
A その声を聴いていきたい。

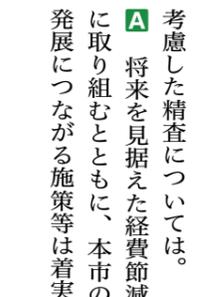


①感染症予防対策で安心な暮らしづくり
Q 公共施設内での換気対策は有効と考えるが「換気の悪い密閉空間」を改善するため、二酸化炭素濃度計を使用し、「見える化」を図っては。
A 導入自体もあるが、現時点で予定はない。エビデン



国が策定する認知症施策推進基本計画や県及び他団体の動向を注視し、対応していきたい。
②人と動物の共生について
Q 道端で亡くなったマイク

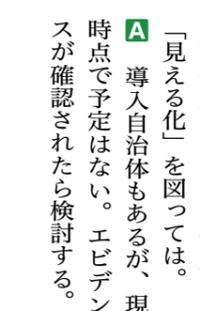
令和3年度の機構改革（組織編成）の成果と課題は。実施から2年が経過した順調な滑り出しで、課題は特段ない。令和6年度に効果などについてしっかり検証する。
③家計支援対策について
Q 重点支援地方交付金を活用しクーポン券を発行しては。
A 対策として有効であり選択肢の一つとして検討する。
Q 発行にかかる印刷費、送料、換金手数料などの試算は。
A 額面費用のほかに事務経費で450万円程度必要になる。



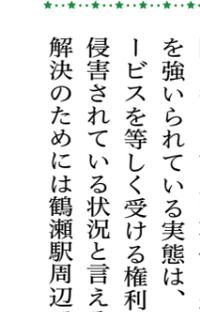
①予算編成の基本的な考え方について
Q 重点施策の推進と既存事業のスクラップ・アンド・ビルドなど、予算におけるアクトセルとブレイキのバランスを考慮した精査については。
A 将来を見据えた経費節減に取り組みとともに、本市の発展につながる施策等は着実



①学校給食費無償化について
Q 無償化した自治体が増加しているが、市の見解は。
A 増加していることは認識しているが、無償化は現在考えていない。
②鶴瀬駅東口について
Q 駅前広場の屋根と駅から接続する屋根の工事の進捗は。
A 接続シールドの設置工



事には既に発注済み。年明けに着工し今年度中に完成予定。
Q 東武東上線の記念碑については対応を行うか。
A 来年度に記念碑の説明板等の整備を行う。
Q 権平川の工事の状況は。
A 約60m暗渠化しインターロッキングブロック舗装を進めている。令和6年1月中旬に完成し通行可能となる予定。
③スポーツ施設整備について
Q びん沼ミニ野球場の外野ラインの除草について。
A 他より短い10mmの刈高にする方法で実施した。



令和3年度の機構改革（組織編成）の成果と課題は。実施から2年が経過した順調な滑り出しで、課題は特段ない。令和6年度に効果などについてしっかり検証する。
③家計支援対策について
Q 重点支援地方交付金を活用しクーポン券を発行しては。
A 対策として有効であり選択肢の一つとして検討する。
Q 発行にかかる印刷費、送料、換金手数料などの試算は。
A 額面費用のほかに事務経費で450万円程度必要になる。

富士見市の市営住宅の戸数と今後の計画は。
A 40戸を令和11年まで借上げ契約している。財政状況等から延長は難しい。
Q 県内の同人口規模の自治体と比較して富士見市の40戸は圧倒的に少ないが見解は。
A 人口規模だけでは判断は難しい。
Q 自治体には、公営住宅法に基づき、公営住宅を整備する責務がある。市営住宅の継続と増やす政策への転換を。
A 市営住宅の必要性は理解している。

小川 匠(日本共産党)



①文化芸術施策のさらなる発展を

Q 富士見市在住など本市ゆかりの芸術家が活躍できる場の提供や、学校・地域との連携にどう取り組むのか。

A 本市ゆかりの芸術家の情報を把握し、学校や地域に提供する仕組みについて、第2次文化芸術振興基本計画に盛

り込めるよう検討している。

Q 子どもや若い世代への施策として、無料で文化芸術を体験できるクーポンの配布を行うってどうか。

A 研究していきたい。

②ケア労働者の賃上げを

Q 介護職の賃金は全産業平均より月額7万円も低い。市として賃上げの支援を。

A 国が月額6000円の処遇改善を行うとしている。

Q とても足りないとの声がある。市として支援を。

A 高齢者が増える中での対応は、現状では難しい。

川畑 勝弘(日本共産党)



①学校給食費の無償化を

Q 市は、学校給食費の無償化は自治体間で格差が生じないように全国一律に実施すべきとしているが、教育や食育の観点から市として無償化を検討すべきと考える。見解は。

A 学校給食費の無償化は、現段階では考えていない。

Q 教育委員会として無償化

に取り組む意識はないとのことだが、教育長の考えを伺う。

A 国や県に対して、学校給食費の無償化に向けた財政措置の創設を要望している。

②性教育について

Q 学校での包括的性教育について、教育委員会の見解は。

A 包括的セクシュアリティ教育については、現在プロジェクトを進めている。

Q 若者がいつでも気軽にける相談場所として、ユースクリニックの設置を。

A 各課で共通認識を持ちながら、協議を進めていく。

山下 淑子(公明党)



①セカンドライフ支援について

Q 本市の見解は。

A 現在の取組を継続しつつ、横のつながりでの仕組みを作り、支援に繋げていきたい。

②高齢者にやさしい市民サービスについて

Q 他市では公民館職員がスマホの使い方を相談に応じてい

る。本市でも行っているのか。A 簡単な質問に関して、日常的に窓口で対応している。Q 移動支援サービスについて、ボランティア運転士等による新しい移動手段の導入は。A 高齢者等の移動手段を確保することは喫緊の課題である。紹介の事業も参考にしながら慎重に検討を進めていく。③外国籍の家族に対する子育て支援について

Q 母子保健推進員の訪問について、現状の対応は。A 日本語が困難な方には、職員が訪問している。

篠田 剛(公明党)



①グラウンドゴルフについて

Q 環境改善に向けて下の谷公園の凸凹の解消や芝生を整備することへの見解は。

A 湿地に強いとされる西洋芝等を植栽したが、現在は一部だけにとどまっている。新たな芝生を整備する予定はないが、気持ちよく利用できるように凸凹解消に努めていく。

篠田 剛(公明党)



②びん沼自然公園のパークゴルフについて

Q 老人福祉センターの事業としてパークゴルフを行い、びん沼のバスを利用することへの市長の見解は。

A 老人福祉センターとびん沼自然公園双方の利用拡大につながる取組で、老人福祉センターの新たな事業に加えるための検討をしていく。



パークゴルフ大会の様子(びん沼自然公園)

Q 産業団地の調整池の底面を利用することへの見解は。

A コンクリートのためグラウンドゴルフの利用は難しい。

②市職員の働き方について

Q DX推進において委託等民間の活用を進めるべきでは。A DX化や外部委託化、採用等についても検討していく。

③教育行政について

Q 教員の働き方改革と生徒への寄り添いの両立について。A 教職員の工夫と保護者や地域の方々との連携が不可欠。

行事や部活動への影響は。A 質が低下しないよう工夫をし、それぞれの教育活動の充実を図っている。Q すこやか支援員の増員を。A 適正な配置を行っていく。Q 進路指導と高校入試支援について。A 受験に向けて学校と連携し、生徒をサポートしていく。③デフリンピックへの取組について

Q 小中学校で手話に触れる機会を。A 手話を体験できるような機会の創出などに努める。

熊谷 麗(草の根)



①教育環境の整備について

Q 市で統一した学校と保護者間の連絡ツールの導入を。

A メリットはあると認識している。安全性や効率的な使用の可否など検討していく。

勝山 祥(草の根)



①介護・健康増進について

Q 介護予防に取り組む自主グループの活動頻度は。

A 週に1度が望ましい。活動場所がなく週に1度活動できないことへの見解は。A 教室や放課後児童クラブなどの空いている時間を活用するなど調整していく。

②市内運動公園について

Q 富士見市運動公園のサッカー場の砂埃対策について。

A 砂埃が舞い上がりやすい岩瀬砂を使用している。撒く量については業者と協議して整備していく。

③富士見市街頭防犯カメラ設置補助制度について

Q 他自治体を参考に、保守点検、修繕などの維持管理費用についても補助対象にしては。

A 地域団体が自主的に行う新設に対しての補助制度のため、現在検討していない。

今成 優太(草の根)



①水子地区の住居表示について

Q 水子地区の番地は100番台から750番台まであり、住所の特定がしづらく、配送物の誤配もある。住居表示の必要があると思うが市の見解は。

A そのような課題はある。地域住民の合意が大切である。水子から住居表示に変わ

加賀 奈々恵(草の根)の市政一般質問につきまして、本人から取下げ願書が提出されたため、取下げとなりました。

った地区は町名を変更したいという意見が根本にあったのではないかと。A それも含めて色々な意見があったと考えている。②スポーツ行政について

Q 大谷翔平選手から贈呈されるグローブについては、主旨を鑑みて全生徒が授業等で使用できるような取組が必要と考えるが市の見解は。

A 主旨を鑑みて取組を検討したいと思う。Q 高架下を全天候型のスポーツ施設に整備してはどうか。A 現在は考えていない。



■次回定例会のお知らせ■

Table with dates and meeting topics: 2月20日(火) 開会・議案内容説明, 2月22日(木), 2月26日(月) 議案総括質疑, 2月27日(火), 2月29日(木) 総務常任委員会, 3月1日(金), 3月4日(月) 文教福祉常任委員会, 3月5日(火), 3月6日(水) 建設環境常任委員会, 3月7日(木), 3月8日(金) 市政一般質問, 3月8日(金) ~ 14日(木), 3月15日(金) 予算決算常任委員会, 3月21日(木) 委員長報告・採決・閉会

※日程は変更になる場合があります。

令和5年第2回(11月)臨時会・第4回(12月)定例会 審議結果

| 議案等番号 | 議案等の名称 | 議案等番号 | 議案等の名称 |
|-------|---|-------|--|
| 72 | 令和5年度富士見市一般会計補正予算(第6号) | 82 | 令和5年度富士見都市計画事業鶴瀬駅東口土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号) |
| 73 | 財産の取得について | 83 | 公の施設の指定管理者の指定について |
| 74 | 富士見市一般職の職員の給与に関する条例及び富士見市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 84 | 富士見市道路線の認定について |
| 75 | 富士見市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について | 85 | 富士見市道路線の変更について |
| 76 | 富士見市子ども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 86 | 富士見市手数料条例等の一部を改正する条例の制定について |
| 77 | 富士見市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について | 87 | 令和5年度富士見市一般会計補正予算(第8号) |
| 78 | 令和5年度富士見市一般会計補正予算(第7号) | 議26 | 医療・介護・障害福祉の分野における処遇改善等を求める意見書の提出について |
| 79 | 令和5年度富士見市国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第2号) | 議27 | 食品ロス削減へのさらなる推進を求める意見書の提出について |
| 80 | 令和5年度富士見市介護保険特別会計補正予算(第2号) | 議28 | 認知症との共生社会の実現を求める意見書の提出について |
| 81 | 令和5年度富士見都市計画事業鶴瀬駅西口土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号) | | |

※報告については、審査の対象ではありません

全会一致可決の議案等

賛否の分かれた議案等

○賛成 ×反対

| 議案等番号 | 議案等の名称 | 審議結果 | 21・未来クラブ | | 草の根 | | | 公明党 | | | 日本共産党 | | | (立) | (維) | | | | | | | | |
|-------|--|------|----------|------|------|------|------|-------|-----|-------|-------|-----|------|-----|------|------|------|------|-----|------|-----|-----|-------|
| | | | 小泉陽 | 田中栄志 | 佐野正幸 | 尾崎孝好 | 斉藤隆浩 | 関野兼太郎 | 村元寛 | 加賀奈々恵 | 熊谷麗 | 勝山祥 | 今成優太 | 篠田剛 | 篠原通裕 | 山下淑子 | 深瀬優子 | 木村邦憲 | 宮尾玲 | 小川勝弘 | 川畑匠 | 根岸操 | 伊勢田幸正 |
| 議25 | オスプレイ墜落事故の原因究明と飛行停止、全面撤去を求める意見書の提出について | 否決 | × | 議長 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| 議29 | 消費税の減税を求める意見書の提出について | 否決 | × | 議長 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| 議30 | 介護保険制度の改善と介護従事者の処遇改善を求める意見書の提出について | 原案可決 | ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| 議31 | ガザ攻撃中止と即時停戦・休戦に向けた外交努力を求める意見書の提出について | 原案可決 | ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |

※表中、(立)は無会派(立憲)、(維)は無会派(日本維新の会)を省略し表記しています。

※表中、議案等番号の「議」は、議員提出議案です。

※議長の賛否の表明は、議長を除く議員の賛否が同数の場合のみです。

11月臨時会 議案審議報告

議案第72号
令和5年度富士見市一般会計補正予算(第6号) (全会一致可決)
 既定の予算に769万円を増額し、予算の総額を403億234万7,000円とするものです。
≪主な内容と金額≫
 ・令和5年4月1日以降に出生した児の保護者を対象に、子育て用品ギフトを贈呈する子育てファミリー応援事業を実施するための補正 [405万8,000円]

12月定例会 議案審議報告

議案第74号
富士見市一般職の職員の給与に関する条例及び富士見市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について (全会一致可決)
 令和5年人事院勧告等に伴い、給料表の水準の引上げと、期末手当及び勤勉手当の支給月数(割合)をそれぞれ0.05月分ずつ引き上げる改正を行うものです(定年前再任用短時間勤務職員の期末手当及び勤勉手当はそれぞれ0.025月分ずつ引上げ、特定任期付職員の期末手当は0.1月分引上げ)。

[施行日]

| | |
|------------------------------------|----------|
| ・給料表に関する規定 | 令和6年1月1日 |
| ・期末手当及び勤勉手当の支給月数(割合)の変更に に関する規定 | |
| ・期末手当及び勤勉手当の支給月数(割合)の均等化に関する規定 | 令和6年4月1日 |

[適用日]

| | |
|----------------------------|-----------|
| ・給料表に関する規定 | 令和5年4月1日 |
| ・期末手当及び勤勉手当の支給月数(割合)に関する規定 | 令和5年12月1日 |

議案第76号
富士見市子ども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について (全会一致可決)
 子ども医療費支給の対象となる子どもの範囲の拡大等をするため、富士見市子ども医療費支給に関する条例の一部を改正するものです。
≪主な内容≫
 ・子どもの定義を「満15歳に達する日以後の最初の3月31日までにある者」から「満18歳に達する日以後の最初の3月31日までにある者」に改める。
 [令和6年4月1日施行]

議案第77号
富士見市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について (全会一致可決)
 子育て世帯の負担軽減を目的とした地方税法施行令の一部改正等に伴い、出産被保険者に係る国民健康保険税の軽減を行うために、富士見市国民健康保険税条例の一部を改正するものです。
≪主な内容≫
 ・国民健康保険税について、出産被保険者に係る所得割額及び被保険者均等割額を軽減し、軽減対象月を次のとおり改正する。

- ①単胎妊娠の場合
 出産予定月の前月から出産予定月の翌々月までの分(4月分)
 - ②多胎妊娠の場合
 出産予定月の3か月前から出産予定月の翌々月までの分(6月分)
 [令和6年1月1日施行]
 ※一部規定は、令和5年12月20日施行
- 議案第78号**
令和5年度富士見市一般会計補正予算(第7号) (全会一致可決)
 既定の予算に2億3,077万7,000円を増額し、予算の総額を405億3,312万4,000円とするものです。
≪主な内容と金額≫
 ・施設類型及び利用定員数に変更があった幼保連携型認定こども園の施設整備について、補助金額を増額するための補正 [7,464万5,000円]
 ・支払額の増加により不足することも医療費を増額するための補正 [5,025万8,000円]

- 指定期間
 令和6年4月1日から令和11年3月31日まで

議案第87号
令和5年度富士見市一般会計補正予算(第8号) (全会一致可決)
 既定の予算に8億6,241万9,000円を増額し、予算の総額を413億9,554万3,000円とするものです。
≪主な内容と金額≫
 ・物価高騰の影響を受ける住民税非課税世帯に対し、給付金を支給するための補正 [8億6,241万9,000円]

議員研修会を実施しました
 令和5年11月7日、埼玉県県土整備部川越県土整備事務所の方を講師として、「富士見市の河川防災・治水対策」をテーマとした研修会を行いました。
 この研修会では、河川防災の概要や埼玉県としての治水対策、砂川堀の改修、水谷調節池や渋井水門の整備などについて説明を受けました。



- 議案第83号**
公の施設の指定管理者の指定について (全会一致可決)
- 施設の名称
 市民総合体育館
 - 指定管理者となる団体
 富士見FTパートナーズ(代表団体：株式会社フクシ・エンタープライズ、構成団体：株式会社東急コミュニティー)